

省エネ支援企業

エネルギー運用管理システムを開発し、運用による省エネ支援に注力する企業

大阪府大阪市の株式会社ピコエイダ(従業員 14 名、資本金 3 億 2,190 万円)は、電気・ガス・水道の総合運用管理システムや節水・省エネ機器の製造・販売及び省エネコンサルティングサービス等を行う企業である。

同社が大阪大学と共同で開発した電気・ガス・水道の総合運用管理システム「ECOIS(エコイス)」は、飲食店等の業務施設の電気・ガス・水道使用状況を可視化し、その結果に基づく設備の省エネ改善から、運用や修理に関する支援までの一括支援を行うものである。

同社は、顧客に対して電気・ガス・水道使用量を可視化するための機器を販売するだけでなく、可視化したデータを分析するサービス業務(省エネ診断、設備運転アドバイス、メンテナンス、削減効果・運用改善アドバイスの週間レポート作成等)を継続して請け負っている。ECOIS の導入効果の事例は、以下の表のとおりである。

ECOIS の導入効果の事例

導入店	光熱水費の削減額 (削減率)	
食堂 (延床面積：45坪)	約29万円/月	{ ・電気：約10万円 (50%) ・ガス：約8万円 (45%) ・水道：約11万円 (55%)
串揚げ店 (延床面積：58坪)	約20万円/月	{ ・電気：約16万円 (45%) ・ガス：約7万円 (15%) ・水道：約3万円 (29%)
うどん店 (延床面積：36坪)	約14万円/月	{ ・電気：約2万円 (10%) ・ガス：約9万円 (20%) ・水道：約3万円 (18%)

(注) 光熱水費の削減額 (削減率) は、導入直前の年の11月と直後の年の11月の値を比較したものの。

同社は、2009 年度から経済産業省の「スマートハウス実証プロジェクト」に参加するとともに、東京大学と「業務施設の電気・ガス・水道最適化モデルの開発」及び「民生部門における省エネ・二酸化炭素削減効果の評価方法に関する研究」について共同研究を開始している。

同社の堀武代表取締役は、「当社は、日々進歩して、他社より常に先を行くことを重視している。また、安心のブランドを大切に、当社に任せれば大丈夫という認識を顧客に持ってもらえるような仕事を積み重ねていきたい。」と語っており、今後も積極的な事業展開を行い、省エネの促進に寄与したいとしている。



ECOIS で可視化された電気・ガス・水道使用状況のデータ画面